

令和6年度

地域整備方向検討調査

中田二期地域単位用水量調査業務

現 場 説 明 書

東北農政局北上土地改良調査管理事務所

1. 一般事項

(1) 契約の保証について

契約の保証については、別紙1のとおりである。

(2) 暴力団員等による不当介入を受けた場合の措置について

- ① 部局長が発注する建設工事及び測量・建設コンサルタント等業務（以下「発注工事等」という。）において、暴力団員等による不当要求又は工事（業務）妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。
- ② ①により警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかにその内容を記載した書面により発注者に報告すること。
- ③ 発注工事等において、暴力団員等による不当介入を受けたことにより工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。

(3) 被災者の就労機会の確保について

受注者は、外業等の業務に当たって、地震等被災地域における被災者（農林漁家を含む）の就労希望者を優先的に雇用するよう努めるものとする。

なお、被災者等の雇用においては、賃金等の支払いが適正かつ遅滞なく行われるよう配慮すること。

2. 作業歩掛について

- ① 「農林水産省土地改良工事積算基準（調査・測量・設計）」（以下「積算基準」という。）に定められていない作業歩掛については、別紙2、見積単価については別紙3のとおり考えている。
また、積算基準の標準歩掛以外の作業歩掛（作業歩掛に付随した機械経費及び材料費を含む）については、歩掛の妥当性を検証するために歩掛実態調査を行うこととしており、調査様式は監督職員が別途指示する。
- ② 本業務における作業条件等については、別紙3のとおりとしている。

3. 歩掛・単価の適用期について

積算に使用する歩掛（別紙2の作業歩掛を除く。）及び単価については、以下のホームページで公表されている入札書受付開始時点の最新を適用する。

- ① 歩掛及び技術者基準日額 農林水産省ホームページ
ホーム > 農村振興 > 土地改良工事積算基準等の改正について
<https://www.maff.go.jp/j/nousin/sekkei/h200331/index.html>
- ② 資材価格 東北農政局ホームページ
ホーム > 入札情報・お問合せ > 発注・入札情報、その他公表事項
<https://www.maff.go.jp/tohoku/sinsei/nyusatu/nyusatu.html>

4. 打合せについて

特別仕様書第5-1条の打合せについては、次のとおり計上している。

- ① 打合せは、東北農政局北上土地改良調査管理事務所（盛岡市）で行うこととしている。
- ② 打合せに係る配置人員は下表のとおりとし、打合せの作業日数は0.5日/回計上とし、往復移動日数に係る基準日額は0.5人/回見込んでいる。

職 種 打合せ	主任技師 (人/回)	技師 (人/回)	技師補 (人/回)
初 回	—	1	1
中間（1回）	—	1	1
最終回	—	1	1

5. 旅費交通費について

- ① 積算上の基地は、仙台市としている。
- ② 打合せはライトバンを利用し日帰りで行うことで旅費交通費を見込んでいる。
- ③ 上記旅費交通費には高速料金（仙台宮城 IC⇔盛岡南 IC）7,909 円（往復、税抜）を含む。
- ④ 現地踏査及び単位用水量調査は、ライトバン 1 台、日帰りにて行うことで旅費交通費を見込んでいる。
- ⑤ 上記旅費交通費には高速料金（多賀城 IC⇔登米 IC）1,400 円（往復、税抜）を含む。
なお、使用日数は延べ56日を見込んでいる。

6. 情報共有システムについて

特別仕様書第4章第4-1条に示す「工事及び業務の情報共有システム活用要領」1-5で見込んでいる情報共有システムの費用等は次のとおりである。

- ① 見込んでいる費用（税抜）
月額利用料 11,100 円／月
- ② アカウント数 アカウント数12 ユーザー
- ③ 使用容量の上限 5GB
- ④ 使用期間 8ヶ月

1. 契約の保証について

(1) 落札者は、業務請負契約書案の提出とともに、以下アからオのいずれかの書類を提出しなければならない。ただし、以下アからオのいずれかの書類に代えて、業務完了保証人を付することができる。

ア 契約保証金に係る保管金領収証書及び保管金提出書

(ア) 保管金領収証書は、「日本銀行盛岡代理店（岩手銀行本店内）」に契約保証金の金額に相当する金額の金銭を払い込んで、交付を受けること。

(イ) 保管金領収証書の宛名の欄には、「東北農政局北上土地改良調査管理事務所 歳入歳出外現金出納官吏 庶務課長 佐藤芳典」と記載するように申し込むこと。

(ウ) 請負代金額の変更により契約保証金の金額を変更する場合の取扱については、契約担当官等の指示に従うこと。

(エ) 受注者の責に帰すべき事由により契約が解除されたときは、契約保証金は、会計法第 29 条の 10 の規定により国庫に帰属する。なお、違約金の金額が契約保証金の金額を超過している場合は、別途、超過分を徴収する。

(オ) 受注者は、業務完了後、請負代金額の支払請求書の提出とともに保管金の払渡を求める旨の保管金払渡請求書を提出すること。

イ 契約保証金に代わる担保としての有価証券（利付国債に限る。）に係る政府保管有価証券払込済通知書及び政府保管有価証券提出書。

(ア) 政府保管有価証券払込済通知書は、「日本銀行仙台支店」に契約保証金の金額に相当する金額の利付国債を払い込んで、交付を受けること。

(イ) 政府保管有価証券払込済通知書の宛名の欄には、「政府保管有価証券取扱主任官東北農政局総務部会計課課長補佐（主計）昆野淳」と記載するように申し込むこと。

(ウ) 請負代金額の変更により契約保証金の金額を変更する場合の取扱については、契約担当官等の指示に従うこと。

(エ) 受注者の責に帰すべき事由により契約が解除されれば、保管有価証券は、会計法第 29 条の 10 の規定により国庫に帰属する。なお、違約金の金額が契約保証金の金額を超過している場合は、別途、超過分を徴収する。

(オ) 受注者は、業務完了後、請負代金額の支払請求書の提出とともに政府保管有価証券払込済請求書を提出すること。

ウ 債務不履行時による損害金の支払いを保証する銀行等の保証に係る保証書

(ア) 契約保証金の支払の保証ができる者は、出資の受入れ、預り金及び金利等の取締りに関する法律（昭和 29 年法律第 195 号）に規定する金融機関である銀行、信託会社、保険会社、信用金庫、信用金庫連合会、労働金庫、労働金庫連合会、農林中央金庫、商工組合中央金庫、信用協同組合、農業協同組合、水産業協同組合若しくはその他の貯金の受入れを行う組合（以下「銀行等」という。）又は公共工事の前払金保証事業に関する法律（昭和 27 年法律第 184 号）第 2 条第 4 項に規定する保証事業会社（以下「金融機関等」と総称する。）とする。

(イ) 保証書の宛名の欄には、「分任支出負担行為担当官 東北農政局北上土地改良調査管理事務所長 吉田正秀」と記載するように申し込むこと。

(ウ) 保証債務の内容は業務請負契約書に基づく債務の不履行による損害金の支払いであること。

(エ) 保証書上の保証に係る業務の業務名の欄には、業務請負契約書に記載される業務名が記載されるように申し込むこと。

(オ) 保証金額は、契約保証金の金額以上であること。

(カ) 保証期間は、履行期間を含むものとする。

- (キ) 請負代金額の変更により契約保証金の金額を変更する場合又は履行期間を変更する場合等の取扱については、契約担当官等の指示に従うこと。
- (ク) 受注者の責に帰すべき事由により契約が解除されれば、銀行等から支払われた保証金は、会計法第 29 条の 10 の規定により国庫に帰属する。なお、違約金の金額が保証金額を超過している場合は、別途、超過分を徴収する。
- (ケ) 受注者は、業務完了後、契約担当官等から保証書（変更契約書がある場合は、変更契約書を含む。）の返還を受け、銀行等に返還するものとする。

エ 債務の履行を保証する公共工事履行保証証券による保証に係る証券

- (ア) 公共工事履行保証証券とは、保険会社が保証金額を限度として債務の履行を保証する保証である。
- (イ) 公共工事履行保証証券の宛名の欄には、「分任支出負担行為担当官 東北農政局北上土地改良調査管理事務所長 吉田正秀」と記載するように申し込むこと。
- (ロ) 証券上の主契約の内容としての業務名の欄には、業務請負契約書に記載される業務名が記載されるように申し込むこと。
- (ハ) 保証金額は、請負代金額の 10 分の 1 の金額以上とする。
- (ニ) 保証期間は、履行期間を含むものとする。
- (ホ) 請負代金額を変更する場合又は履行期間を変更する場合の取扱については、契約担当官等の指示に従うこと。
- (ヘ) 受注者の責に帰すべき事由により契約が解除されれば、保険会社から支払われた保証金は、会計法第 29 条の 10 の規定により国庫に帰属する。なお、違約金の金額が保証金額を超過している場合は、別途、超過分を徴収する。

オ 債務の不履行により生ずる損害をてん補する履行保証保険契約に係る証券

- (ア) 履行保証保険とは、保険会社が債務不履行時に、保険金を支払うことを約する保険である。
- (イ) 履行保証保険は、定額てん補方式を申し込むこと。
- (ロ) 保険証券の宛名の欄には、「分任支出負担行為担当官 東北農政局北上土地改良調査管理事務所長 吉田正秀」と記載するように申し込むこと。
- (ハ) 証券上の主契約の内容としての業務名の欄には、業務請負契約書に記載される業務名が記載されるように申し込むこと。
- (ニ) 保険金額は、請負代金額の 10 分の 1 の金額以上とする。
- (ホ) 保険期間は、履行期間を含むものとする。
- (ヘ) 請負代金額を変更する取扱については、契約担当官等の指示に従うこと。
- (ケ) 受注者の責に帰すべき事由により契約が解除されれば、保険会社から支払われた保険金は、会計法第 29 条の 10 の規定により国庫に帰属する。なお、違約金の金額が保険金額を超過している場合は、別途、超過分を徴収する。

(2) (1) の規定にかかわらず、次に該当する場合は、契約の保証を付さなくてよいものとする。

- ア 予算決算及び会計令（昭和 22 年勅令第 165 号）第 100 条の 2 第 1 項第 1 号の規定により業務請負契約書の作成を省略することができる業務請負契約である場合。

2. 低入札価格調査基準の適用について

本業務は、低入札価格調査の対象業務となることから、低入札基準に該当した場合は書面による調査回答を求める。

別紙2 作業歩掛表

【中田二期単位用水量調査業務】

測量業務の積算体系

(単位：人)

作業項目	数量	区分	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手
1. 準備作業						
1-1. 現地踏査	1式	外業	2.0	4.0	4.0	
2. 単位用水量調査						
2-1. 代かき用水量調査（6地点）	1式	外業	2.0	8.0	20.0	20.0
2-2. 減水深調査（6地点）	1式	外業	2.0	4.0	12.0	12.0
2-3. 土壌調査（3地点）	1式	外業	1.0	2.0	4.0	2.0
		内業	1.0	2.0	4.0	2.0
2-4. 土壌水分特性調査（3地点）	1式	外業	1.0	2.0	4.0	4.0
		内業	1.0	2.0	4.0	4.0
2-5. 畑地水分調査（3地点）	1式	外業	2.0	6.0	12.0	12.0
2-6. 調査結果とりまとめ	1式	内業	1.0	2.0	2.0	4.0
3. 点検とりまとめ	1式	内業	2.0	3.0	3.0	
計		外業	10.0	26.0	56.0	50.0
		内業	5.0	9.0	13.0	10.0
合計			15.0	35.0	69.0	60.0

別紙3 見積価格

【中田二期単位用水量調査業務】

(単位：円)

見積資材価格項目	単位当たり	単位当たり 単価	備 考
1. 代かき用水量調査消耗品	地点	1,500	全体数量 6 地点
2. 減水深調査消耗品	地点	1,500	全体数量 6 地点
3. 土壌調査等消耗品	式	4,500	全体数量 1 式
4. 土壌水分特性調査に係る室内試験費用 (3 地点分)	式	590,000	全体数量 1 式
5. 減水深計購入単価	台	170,000	全体数量 3 台
6. データコレクタ購入単価 (外部記憶媒体含む)	台	39,000	全体数量 1 台
7. 畑地用観測機器 (データロガー) 購入単価	台	120,000	全体数量 3 台
8. 畑地用観測機器 (土壌水分センサー) 購入単価	本	22,000	全体数量 3 箇所×4 層=12本

※項目 1～3 は直接人件費に計上
項目 4～8 は一括計上

【中田二期単位用水量調査業務】

作業項目	作業条件等	数量	備考
(1) 設計作業			
1. 準備作業	測量業務の積算体系	1式	見積歩掛
2. 単位用水量調査	〃	〃	〃
3. 点検とりまとめ	〃	〃	〃
(2) 打合せ	打合せ日数0.5日、移動日0.5日	3回	標準歩掛
(3) 打合せ旅費交通費	1回当たりライトバンを1日利用。 基地から北上土地改良調査管理事務所（盛岡市） 高速料金：仙台宮城IC～盛岡南IC 7,909円（往復、税抜）を見込む。	3回	標準歩掛
(4) 現地踏査、単位用水量調査旅費交通費（測量業務）	・現地踏査、単位用水量調査に係る旅費交通費は、ライトバン1台、日帰りで延べ56日 基地から北上川沿岸中田地区土地改良区を起点 高速料金：多賀城IC⇄登米IC 1,400円（往復、税抜）を見込む。	56日	標準歩掛
(5) 業務報告書作成		1式	標準歩掛
(6) 一括計上	①業務管理費 情報共有システム 月額利用料8ヶ月	1式	
	②室内試験費用 土壌水分特性調査に係る室内試験	1式	見積単価
	③減水深計購入費用	3台	見積単価
	④データコレクタ購入費用（外部記憶媒体含む）	1台	見積単価
	⑤畑地用観測機器（データロガー）購入費用	3台	見積単価
	⑥畑地用観測機器（土壌水分センサー）購入費用	12本	見積単価

※1 本作業条件等は入札参加者の見積の参考資料とするものであり、業務請負契約上、発注者、受注者の双方を拘束するものでない。

※2 見積歩掛は別紙2、見積単価は別紙3に示すとおり。